

法学部法律学科 カリキュラムマップ

必修科目

学部人材養成目的	法学部は、法律の専門的・体系的知識に基づく法的思考力を修得させ、もって理論実践両面に明るい人材を養成することを目的とする。
具体的目的	法学部法律学科は、法律の専門的・体系的知識に基づく法的思考力を修得させるとともに、フィールドワークを通じて実践力を獲得させ、もって地域の行政・企業分野において実務を遂行できる人材、及び企業活動に積極的に関与できる法律のプロフェッショナルを養成する。
学位授与方針	<p>①人文社会自然科学を基礎とした幅広い教養を身につけている。</p> <p>②法律学の専門的知識及びその活用方法を身につけている。</p> <p>③リーガルマインドに基づき、基礎的な法律の知識から論理的に考える能力を修得しており、その知識を使って現代社会の問題を分析し考察することができる。</p> <p>④現代社会の多様なフィールドにおける諸課題の解決に向けて、的確な学際的考察及び総合的判断することができる。</p> <p>⑤現代社会の諸課題に対して自ら積極的に関心をもち続け、現代社会に貢献することができる。</p> <p>⑥グループで協力しながら問題を解決する態度、生涯学び続け成長し続ける意欲と態度を身につけている。</p> <p>⑦自己の思考・判断のプロセス及び結果を他者にわかりやすくプレゼンテーションできる。</p> <p>⑧良好な人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を身につけている。</p>

大学共通													
学位授与の方針(再表現)	人文社会自然科学を基礎とした幅広い教養を身につけている。		グループで協力しながら問題を発見し解決する態度、生涯学び続け成長し続ける意欲と態度を身につける。		どのような職業においても必要とされる、法律学の基礎知識を習得したうえで、法学に裏打ちされた論理的思考力、ならびに、その活用方法を身につける。		現代社会の多様なフィールドにおける諸課題の解決に向けて、法律の枠を超えた総合的・的確な考察をする。						
科目区分	外国語	教養教育	基礎科目・キャリア・実技	実習	演習・ゼミ科目	基礎科目	専門科目	特殊講義科目	資格講座科目	リスクマネジメント科目	関連科目	スポーツ特別教育科目	
4年					専門演習B キャリア・チュートリアルⅣ								
3年			キャリアプラン実践		専門演習A キャリア・チュートリアルⅢ		外国語 国際法 環境法 企業法Ⅰ 企業法Ⅱ 刑法各論 契約法各論 行政法Ⅰ 行政法Ⅱ 行政経済法 行政法総論 国際政治学Ⅰ 国際政治学Ⅱ	法政特殊講義3(公法上級) 法政特殊講義4(私法上級) 法政特殊講義5(地域連携) 法政特殊講義6 法政特殊講義7 法政特殊講義8	法職資格講座6(知的財産権法) 法職資格講座7(登記簿書式)	リスクマネジメント各論Ⅰ リスクマネジメント各論Ⅱ	財政学 国際政治学	体力トレーニング スポーツ経営学 スポーツ心理学 スポーツ社会学	
2年	ドイツ語Ⅲ 中国語Ⅲ 韓国語Ⅲ インドネシア語Ⅲ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ	外国文学 倫理学 教育学 知の技法 日本国憲法 人権論 地域学	キャリアプラン	インターンシップ 海外語学実習 海外社会実習 国内社会実習	法律学基礎セミナー キャリア・チュートリアルⅡ		刑事訴訟法Ⅰ 刑事訴訟法Ⅱ 刑法総論 債権総論 政治学原論Ⅰ 政治学原論Ⅱ 物権法	民事訴訟法Ⅰ 民事訴訟法Ⅱ 民法総論Ⅱ	法政特殊講義1(公法補論) 法政特殊講義2(私法補論)	法職資格講座1 法職資格講座2 法職資格講座3(登記簿) 法職資格講座4(法律実務論) 法職資格講座5(不動産関連法)	リスクマネジメント実習 リスクマネジメント実践論 リスクマネジメント総論 社会実習2	国際経済学入門 国際社会学 財政学入門 地域と金融 国際金融論	コーチング論 発育発達論 スポーツ方法学 バドミントン バレー ジョギング・ウォーキング サッカー テニス スキー キャンプ
1年	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語(リーディング) 英語(ライティング) 英語(日常英会話) 英語(ビジネス英会話) ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ インドネシア語Ⅰ インドネシア語Ⅱ 日本語Ⅰ 日本語Ⅱ	学園史 哲学 日本史 外国史 日本文学 心理学 日本文化 法学 経済学 社会学 地域連携講座 日本経済 自然科学概論 健康科学 数学 環境科学	キャリアデザイン スポーツ実技 情報処理A 情報処理B アカデミックライティングⅠ アカデミックライティングⅡ		入門セミナーⅠ 入門セミナーⅡ キャリア・チュートリアルⅠ		憲法Ⅰ 憲法Ⅱ 法律学入門Ⅰ 法律学入門Ⅱ 民法総論Ⅰ	親族法 相続法			リスクマネジメント入門 社会実習1	ミクロ経済学	

キャリア

教育課程編成方針	<p>(1) 共通教育科目では、教養教育を担うため全学部共通で設定しており、大学での学修の基礎となる知識やスキル、そして豊かな人間性と高い教養を身につけるべく、4つの科目群に区分します。</p> <p>(2) 専門教育科目では、専門教育科目を専門科目群、特殊講義科目群、リスクマネジメント科目群、資格講座科目群、関連科目群、演習群の6つに科目群区分します。</p> <p>①専門科目群では、学生に学年を追って段階的に科目同士の関連性や法的体系性を認識させ、その関連性・体系性から導かれる法的論理力・思考力を涵養させるべく、「憲法Ⅰ・Ⅱ」、「法律学入門Ⅰ・Ⅱ」、「民法総論Ⅰ・Ⅱ」等を配置します。また、民法をはじめとする「物権法」、「債権総論」、「刑法総論」等を配置します。さらに、プレゼンテーションや協働能力の向上のために、「キャリアチュートリアルⅠ～Ⅳ」を配置します。本科目群は、DP(知識・理解)／(思考・判断)／(関心・意欲・態度)／(技能・表現)に強く関連します。</p> <p>②特殊講義科目群では、専門科目群だけでは不十分な法律科目の学習を補助する科目や法律に限らない特殊な内容を学ぶための「法政特殊講義1～8」を配置します。本科目群は、DP(知識・理解)／(思考・判断)／(関心・意欲・態度)に強く関連します。</p> <p>③リスクマネジメント科目群では、「リスクマネジメントコース」に所属する学生が、将来の進路に応じて、リスクマネジメントの知識を入門から実践まで体系的に学ぶことができる科目を配置します。本科目群は、DP(知識・理解)／(思考・判断)／(関心・意欲・態度)／(技能・表現)に強く関連します。</p> <p>④資格講座科目群では、「資格取得コース」に所属する学生が、関心や将来の進路に応じて、資格取得を目指すことができる科目、「法職資格講座1～5」を配置します。本科目群は、DP(知識・理解)／(思考・判断)／(技能・表現)に強く関連します。</p> <p>⑤関連科目群では、教員免許取得に必要な科目やコミュニケーションスキルを養うための科目などを配置します。本科目群は、DP(知識・理解)／(技能・表現)に強く関連します。</p> <p>⑥演習群では、それまで修得できた知識やスキルを統合するとともにコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、課題発見力、課題解決力などを養成するため、「専門演習A・B」を配置します。本科目群は、DP(知識・理解)／(思考・判断)／(関心・意欲・態度)／(技能・表現)に強く関連します。</p> <p>(3) 特別教育科目では、学生の将来の進路を支援するために特別に置かれている科目です。「スポーツ特別教育科目」を体系的に配置します。本科目群は、DP(知識・理解)／(思考・判断)／(関心・意欲・態度)／(技能・表現)に強く関連します。</p>
入学者受入れ方針	<p>【知識・技能】</p> <p>①高等学校の教育課程を幅広く修得している。</p> <p>②高等学校までの「国語総合(現代文)」や「英語」の履修を通じて、基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>③現代社会の問題について、知識や情報をもとに筋道立てて考え、その内容をわかりやすく表現できる。</p> <p>【主体性・協働して学ぶ態度】</p> <p>④クラブ活動、委員会活動や社会奉仕等を通じて、多様な人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身につけている。</p> <p>⑤法律学の知識やリーガルマインド及び学内外での様々な体験を社会で活かしたいという目的意識と意欲がある。</p>

学部人材養成目的	現代ビジネス学部は、21世紀の社会を展望し、グローバル化の進む世界や地域のビジネス組織、すなわち企業、自治体、民間団体などで活躍できる豊かな教養と知識を有する人材を養成する。
学科人材養成目的	現代ビジネス学部地域経済学科は、経済学や経営学に関する基本的な知識を身につけ、企業や地域の組織体での就労を通して産業や地域社会に貢献する中堅的な人材を養成する。
学位授与方針	<p>【知識・理解】</p> <p>①人文社会自然科学を基礎とした幅広い教養を身につけている。</p> <p>②経済学や経営学の専門的知識及びその活用方法を身につけている。</p> <p>【思考・判断】</p> <p>③ローカルな視点とグローバルな視点を併せ持ち、現代の経済、社会、文化について論理的に考えて分析し考察することができる。</p> <p>④地域社会の多様なフィールドにおける諸課題の解決に向けて、的確な学際的考察及び総合的判断ができる。</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>⑤地域社会の諸課題に対して自ら積極的に関心をもち続け、地域社会に貢献することができる。</p> <p>⑥多様な人々との交流、連携、協働を通じて、社会人として成長し続ける意欲と態度を身につけている。</p> <p>【技能・表現】</p> <p>⑦自己の思考・判断のプロセス及び結果を他者にわかりやすくプレゼンテーションできる。</p> <p>⑧良好な人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を身につけている。</p>

学位授与方針(再表現)	大学共通		現代ビジネス学部共通											
	外国語	教養教育	基礎科目・キャリア・実技	実習	演習群+基礎科目	基礎科目	基幹科目	経済コース	経営コース	地域づくりコース	観光ビジネスコース	スポーツマネジメントコース	関連科目	スポーツ特別教育科目
4年					卒業研究									
3年			キャリアプラン実践	プラン&プラクティス	専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ		外書講読 地域経済論	アジア経済論 経済統計 財政学 労働経済学	ビジネスケーススタディ ビジネスリーダーシップ論 管理会計 企業論 経営管理論	地域コミュニティ論 地域づくり実習Ⅱ 地域調査法	ホスピタリティ・マネジメント 観光調査法	スポーツ経営学 スポーツ社会学 スポーツ心理学	国際政治学Ⅰ 国際政治学Ⅱ 国際法	体カトレーニング レクリエーション実技 体育指導演習
2年	ドイツ語Ⅲ 中国語Ⅲ 韓国語Ⅲ インドネシア語Ⅲ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ	外国文学 倫理学 教育学 知の技法 日本国憲法 人権論 地域学	キャリアプラン	プラン&プラクティス インターキッキング 海外社会実習 国内社会実習	専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	ビジネスと法律	マクロ経済学 地域経済論入門 会計学 会計学入門 企業論入門 経営学 経営組織論 経済政策論 国際経済学入門 財政学入門 人的資源管理論入門 地域と金融 地方財政論 統計学入門 日本経済論 労働経済学入門	環境経済論 経済学史 経済学 経済数学 国際金融論 国際経済学 社会保障論	ビジネスプログラミング ビジネス実習 マーケティング論 国際物流論 人的資源管理論	地域づくり実習Ⅰ 地域づくり論 地域政策論 都市経営論	ホテルマネジメント論 観光ビジネス論 観光マーケティング論 観光概論 対人コミュニケーション論	イベントプランニング コーチング論 スポーツと地域環境 スポーツ方法学	Advanced TOEIC I Advanced TOEIC II PC TOEIC Training I PC TOEIC Training II ファシリテーション実践 憲法Ⅱ 国際社会学	発育発達論 バドミントン バスケットボール バレー ジョギング・ウォーキング サッカー テニス スキー キャンプ
1年	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語(リーディング) 英語(ライティング) 英語(日常英会話) 英語(ビジネス英会話) ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ インドネシア語Ⅰ インドネシア語Ⅱ 日本語Ⅰ 日本語Ⅱ	学園史 哲学 日本史 外国史 日本文学 心理学 日本文化 法学 経済学 社会学 地域連携講座 日本経済 自然科学概論 健康科学 数学 環境科学	キャリアデザイン スポーツ実技 情報処理A 情報処理B アカデミックライティングⅠ アカデミックライティングⅡ	プラン&プラクティス	入門セミナーⅠ 入門セミナーⅡ	グローバル経済と生活 北九州学 ビジネスと簿記	ミクロ経済学 マーケティング論入門 簿記論 マネジメント入門							ビジネスマナー 憲法Ⅰ 民法総則

教育課程編成方針	<p>本学科では、定められたディプロマ・ポリシーを達成するため、以下のように教育課程を編成します。</p> <p>(1) 共通教育科目では、教養教育を担うため全学部共通で設定しており、大学での学修の基礎となる知識やスキル、そして豊かな人間性と高い教養を身につけるべく、4つの科目群に区分します。</p> <p>(2) 専門教育科目では、専門教育科目を基礎科目群、基幹科目群、コース科目群、関連科目群、演習群の5つに科目群区分します。</p> <p>①基礎科目群では、グローバル化の進む経済社会、地元北九州の地域特性についての知識を修得させるために、「グローバル経済と生活」、「北九州学」を必修として配置します。また、PBL型の教育により地域の諸課題の解決方法を学生に考えさせることで課題発見力、プレゼンテーション能力、課題へのアプローチ方法、実践力などを身につけるべく、「プラン&プラクティス」を配置します。本科目群は、DP(知識・理解)／(思考・判断)／(関心・意欲・態度)／(技能・表現)に強く関連します。</p> <p>②基幹科目群では、経済学の基礎科目である「ミクロ経済学」、「マクロ経済学」、「地域経済論入門」を学科の必修科目として配置します。さらに経営学的な思考も修得させるために「経営学」、「簿記論」、「経営組織論」などを配置し、経済・経営の各学問領域における専門的基礎知識を体系的に修得します。本科目群は、DP(知識・理解)／(思考・判断)／(関心・意欲・態度)に強く関連します。</p> <p>③コース科目群では、地域社会の具体的な問題解決を行い、各学問領域における専門知識を現場で応用できるよう、各学科が必要とされる専門科目を必修化し、それに関連する科目を学問系列ごとに分けて5つのコース科目として配置します。学生は5つのコース「経済コース」、「経営コース」、「地域づくりコース」、「観光ビジネスコース」、「スポーツマネジメントコース」のいずれかに所属します。なお、所属のコース科目で生まれた新たな関心・意欲に応え、幅広い学問領域における専門知識を体系的に修得するため、他のコース科目の履修を推奨します。本科目群は、DP(知識・理解)／(思考・判断)／(関心・意欲・態度)に強く関連します。</p> <p>④関連科目群では、教員免許取得に必要な科目やコミュニケーションスキルを養うための科目などを配置します。本科目群は、DP(知識・理解)／(技能・表現)に強く関連します。</p> <p>⑤演習群では、それまで修得してきた知識やスキルを統合するとともにコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、課題発見力、課題解決力などを養成するため、必修科目として「専門演習Ⅰ～Ⅳ」を配置し、学修の集大成として「卒業研究」を配置します。本科目群は、DP(知識・理解)／(思考・判断)／(関心・意欲・態度)／(技能・表現)に強く関連します。</p> <p>(3) 特別教育科目では、学生の将来の進路を支援するために特別に置かれている科目です。「スポーツ特別教育科目」を体系的に配置します。本科目は、DP(知識・理解)／(思考・判断)／(関心・意欲・態度)／(技能・表現)に強く関連します。</p>
入学者受入れ方針	<p>【知識・技能】</p> <p>①高等学校の教育課程を幅広く修得している。</p> <p>②高等学校までの「国語総合(現代文)」や「英語」の履修を通じて、基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>③現代社会の問題について、知識や情報をもとに筋道立てて考え、その内容をわかりやすく表現できる。</p> <p>【主体性・協働して学ぶ態度】</p> <p>④クラブ活動、委員会活動や社会奉仕等を通じて、多様な人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身につけている。</p> <p>⑤経済学や経営学の知識及び学内外での様々な体験を社会で活かしたいという目的意識と意欲がある。</p>

現代ビジネス学部 国際社会学科 カリキュラムマップ

必修科目

学部人材養成目的	現代ビジネス学部は、21世紀の社会を展望し、グローバル化の進む世界や地域のビジネス組織、すなわち企業、自治体、民間団体などで活躍できる豊かな教養と知識を有する人材を養成する。
学科人材養成目的	現代ビジネス学部国際社会学科は、国際社会科学を基にして異文化を理解し国際情勢を読み解くための基礎的な知識を身につけ、現代社会のグローバルな変化に対応できる国際対話能力を養い、国際社会だけでなく地域社会でも活躍する人材を養成する。
学位授与方針	<p>【知識・理解】</p> <p>①人文社会自然科学を基礎とした幅広い教養を身につけている。</p> <p>②国際社会科学や異文化理解の知識及びその活用方法を身につけている。</p> <p>【思考・判断】</p> <p>③ローカルな視点とグローバルな視点を併せ持ち、現代の経済、社会、文化について論理的に考えて分析し考察することができる。</p> <p>④現代社会の多様なフィールドにおける諸課題の解決に向けて、的確な学際的考察及び総合的判断ができる。</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>⑤現代社会の諸課題に対して自ら積極的に関心を持ち続け、現代社会に貢献することができる。</p> <p>⑥自ら課題を探究し、他者と協力しながら自律的、主体的に課題を解決するための意欲と職業的自律を図るための態度を身につけている。</p> <p>【技能・表現】</p> <p>⑦外国語で書かれた資料や書類を理解し、必要な情報を的確に読み取り討議や意見交換を行うことができる。</p> <p>⑧国際コミュニケーションの手段として必要な、英語や韓国語を中心とした国際対話能力を身につけている。</p>

科目区分	大学共通		現代ビジネス学部共通		現代ビジネス学部共通							
	外国語	教養教育	基礎科目・キャリア・実技	実習	演習群+基礎科目	基幹科目	英語コース	ハングルコース	国際コース	関連科目	スポーツ特別教育科目	
4年					卒業研究							
3年			キャリアプラン実践	プラン&プラクティクスIV	専門演習III 専門演習IV	アジア経済論 グローバル化時代と国際関係 異文化コミュニケーション論 国際社会と福祉 国際政治学 国際法 西洋の社会と文化	Advanced Reading Advanced Writing Speech & Discussion 英語学研究A 英語学研究B 英米文学講読A 英米文学講読B	韓国語実践 日韓交流史	国際政治、国際経済など、国際情勢を読み解くために必要となる専門的な知識を身につける。 また、異文化に対する理解を深め、国際貢献に必要な知識・スキルを身につけることで、現代社会で活躍できる力を修得する。	ホスピタリティ・マネジメント	スポーツの楽しさを伝えたり、理論を教えたりを通じて年齢に関係なく幅広い層を対象とした地域貢献ができる力を修得する	
2年	ドイツ語III 中国語III 韓国語III インドネシア語III 日本語III 日本語IV	外国文学 倫理学 教育学 知の技法 日本国憲法 人権論 地域学	キャリアプラン プラン&プラクティクスI プラン&プラクティクスII プラン&プラクティクスIII インターナショナルシップ 海外語学実習 海外社会実習 国内社会実習	専門演習I 専門演習II	ビジネスと法律 アメリカ文学 イギリス文学 言語習得論 国際マーケティング論 国際関係史 国際関係論 国際金融論 国際経済学 国際社会学 日本文化論 比較言語学 比較宗教論 比較文化論	Advanced TOEIC I Advanced TOEIC II Communicative English I Communicative English II PC TOEIC Training I PC TOEIC Training II Reading I Reading II Writing I Writing II 英語音声学 I 英語音声学 II 英語学概論 英文法論	韓国語会話I 韓国語会話II 韓国事情I 韓国事情II 日韓交流実践	韓国語を高め、実践的な学びを通して韓国語を修得し、留学や海外実習などで国際感覚を身につける。	NGO実践論 カルチュラルスタディーズ(宗教) 国際協力実践論	ファシリテーション実践 対人コミュニケーション論 カルチュラルスタディーズ(思想) カルチュラルスタディーズ(社会) 開発経済論 国際協力論	コーチング論 発育発達論 スポーツ方法学 バドミントン バスケットボール バレー ジョギング・ウォーキング サッカー テニス スキー キャンブ	
1年	英語I 英語II 英語(リーディング) 英語(ライティング) 英語(日常英会話) 英語(ビジネス英会話) ドイツ語I ドイツ語II 中国語I 中国語II 韓国語I 韓国語II インドネシア語I インドネシア語II 日本語I 日本語II	学園史 哲学 日本史 外国史 日本文学 心理学 日本文化 法学 経済学 社会学 地域連携講座 日本経済 自然科学概論 健康科学 数学 環境科学	キャリアデザイン スポーツ実技 情報処理A 情報処理B アカデミックライティングI アカデミックライティングII	入門セミナーI 入門セミナーII	グローバル経済と生活 北九州学 ビジネスと簿記	PG English Training I PG English Training II 国際社会入門I 国際社会入門II					ビジネスマナー	

(1) 共通教育科目では、教養教育を担うため全学部共通で設定しており、大学での学修の基礎となる知識やスキル、そして豊かな人間性と高い教養を身につけるべく、4つの科目群に区分します。

(2) 専門教育科目では、専門教育科目を基礎科目群、基幹科目群、コース科目群、関連科目群、演習群の5つに科目群区分します。

① 基礎科目群では、グローバル化の進む経済社会、地元北九州の地域特性についての知識を修得させるために、「グローバル経済と生活」、「北九州学」を必修として配置します。また、PBL型の教育により地域の諸課題の解決策を学生に考えさせることで課題発見力、プレゼンテーション能力、課題へのアプローチ方法、実践力などを身につけるべく、「プラン&プラクティクス」を配置します。本科目群は、DP(知識・理解)／(思考・判断)／(関心・意欲・態度)／(技能・表現)に強く関連します。

② 基幹科目群では、英語運用能力を向上させるためにe-ラーニング授業「PG English Training I」を必修科目として配置します。また、「国際社会入門I・II」を学科の必修科目として配置します。さらに国際社会を理解するために「国際関係論」、「国際マーケティング論」、「異文化コミュニケーション論」などを配置し、国際社会科学の各学問領域における専門的基礎知識を体系的に修得します。本科目群は、DP(知識・理解)／(思考・判断)／(関心・意欲・態度)に強く関連します。

③ コース科目群では、国際社会の具体的な問題解決を行い、各学問領域における専門知識を現場で応用できるよう、各コースで必要とされる専門科目を必修化し、それに関連する科目を学問系列ごとに分けて3つのコース科目として配置します。学生は3つのコース「英語コース」、「ハングルコース」、「国際コース」のいずれかに所属します。なお、所属のコース科目で生まれた新たな関心・意欲に応え、幅広い学問領域における専門知識を体系的に修得するため、他のコース科目の履修を推奨します。本科目群は、DP(知識・理解)／(思考・判断)／(関心・意欲・態度)に強く関連します。

④ 関連科目群では、教員免許取得に必要な科目やコミュニケーションスキルを養うための科目などを配置します。本科目群は、DP(知識・理解)／(技能・表現)に強く関連します。

⑤ 演習群では、それまで修得できた知識やスキルを統合するとともにコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、課題発見力、課題解決力などを養成するため、必修科目として「専門演習I～IV」を配置し、学修の集大成として「卒業研究」を配置します。本科目群は、DP(知識・理解)／(思考・判断)／(関心・意欲・態度)／(技能・表現)に強く関連します。

(3) 特別教育科目では、学生の将来の進路を支援するために特別に置かれている科目です。「スポーツ特別教育科目」を体系的に配置します。本科目は、DP(知識・理解)／(思考・判断)／(関心・意欲・態度)／(技能・表現)に強く関連します。

入学受入れ方針	<p>【知識・技能】</p> <p>①高等学校の教育課程を幅広く修得している。</p> <p>②高等学校までの「国語総合(現代文)」や「英語」の履修を通じて、基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>③現代社会の問題について、知識や情報をもとに筋道立てて考え、その内容をわかりやすく表現できる。</p> <p>【主体性・協働して学ぶ態度】</p> <p>④クラブ活動、委員会活動や社会奉仕等を通じて、多様な人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身につけている。</p> <p>⑤国際社会科学や異文化理解の知識及び学内外での様々な体験を社会で活かしたいという目的意識と意欲がある。</p>
---------	---